



平成25年11月14日

各 位

会 社 ナブテスコ株式会社
代 表 代表取締役社長 小谷 和朗
(コード番号 6268 東証第1部)
問 合 総務部長 松本 敏裕
(T E L 03-5213-1133)

(訂正・数値データ訂正あり)
「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

平成25年10月31日に公表いたしました「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、訂正箇所については下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所】

(4ページ)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

【訂正前】

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(中略)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は120,693百万円、固定資産は96,421百万円であり、その結果、総資産は217,114百万円と前連結会計年度末比14,058百万円の増加となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加7,179百万円、たな卸資産の増加2,620百万円、投資有価証券の増加2,435百万円及び無形固定資産の増加1,764百万円です。

(中略)

② キャッシュ・フローの状況

	前第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	6,119	<u>11,349</u>	<u>5,230</u>
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,215	<u>△4,041</u>	<u>5,174</u>
フリーキャッシュ・フロー	△3,096	7,308	10,405
財務活動による キャッシュ・フロー	△8,003	△3,192	4,811

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により獲得した資金11,349百万円を主に設備投資、借入金の返済、配当金の支払等に充てた結果、45,377百万円と前連結会計年度末比5,177百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間比5,230百万円収入が増加し、11,349百万円の資金の増加となりました。増加要因としては主に税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少、仕入債務の増加によるものであります。一方、減少要因としては主にたな卸資産の増加、法人税等の支払によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間比5,174百万円支出が減少し、4,041百万円の資金の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(後略)

[訂正後]

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況
(中略)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は120,569百万円、固定資産は96,544百万円であり、その結果、総資産は217,114百万円と前連結会計年度末比14,058百万円の増加となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加7,179百万円、たな卸資産の増加2,620百万円、投資有価証券の増加2,435百万円及び無形固定資産の増加1,764百万円であります。

(中略)

② キャッシュ・フローの状況

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	
営業活動による キャッシュ・フロー	6,119	11,580	5,461
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,215	△4,271	4,943
フリーキャッシュ・フロー	△3,096	7,308	10,405
財務活動による キャッシュ・フロー	△8,003	△3,192	4,811

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により獲得した資金11,580百万円を主に設備投資、借入金の返済、配当金の支払等に充てた結果、45,377百万円と前連結会計年度末比5,177百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間比5,461百万円収入が増加し、11,580百万円の資金の増加となりました。増加要因としては主に税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少、仕入債務の増加によるものであります。一方、減少要因としては主にたな卸資産の増加、法人税等の支払によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間比4,943百万円支出が減少し、4,271百万円の資金の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(後略)

(7ページ)

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

[訂正前]

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
(中略)		
その他	2,994	3,555
貸倒引当金	△118	△179
流動資産合計	112,048	120,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,042	46,710
減価償却累計額	△27,504	△28,300
建物及び構築物(純額)	16,537	18,410
機械装置及び運搬具	60,129	63,052
減価償却累計額	△41,497	△43,837
機械装置及び運搬具(純額)	18,631	19,215
工具、器具及び備品	21,290	22,439
減価償却累計額	△19,022	△19,836
工具、器具及び備品(純額)	2,267	2,602
土地	14,592	14,677
建設仮勘定	2,447	866
有形固定資産合計	54,475	55,772
(中略)		
固定資産合計	91,008	96,421
資産合計	203,056	217,114

[訂正後]

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
(中略)		
その他	2,994	3,431
貸倒引当金	△118	△179
流動資産合計	112,048	120,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,042	46,710
減価償却累計額	△27,504	△28,300
建物及び構築物(純額)	16,537	18,410
機械装置及び運搬具	60,129	63,179
減価償却累計額	△41,497	△43,858
機械装置及び運搬具(純額)	18,631	19,320
工具、器具及び備品	21,290	22,445
減価償却累計額	△19,022	△19,837
工具、器具及び備品(純額)	2,267	2,607
土地	14,592	14,677
建設仮勘定	2,447	880
有形固定資産合計	54,475	55,896
(中略)		
固定資産合計	91,008	96,544
資産合計	203,056	217,114

(11ページ)

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

[訂正前]

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
固定資産売却損益(△は益)	△37	3
(中略)		
その他	708	2,023
小計	10,360	14,296
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,119	11,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
有形固定資産の取得による支出	△8,354	△3,507
有形固定資産の売却による収入	63	112
(中略)		
その他	△256	132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,215	△4,041

[訂正後]

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
固定資産売却損益(△は益)	△37	△3
(中略)		
その他	708	2,261
小計	10,360	14,527
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,119	11,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
有形固定資産の取得による支出	△8,354	△3,520
有形固定資産の売却による収入	63	1
(中略)		
その他	△256	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,215	△4,271

以上